

安心して住み続けられる公団

住宅を全国自治協が要請行動

全国公団住宅自治会協議会(全国自治協)は昨年12月20日、国土交通省、UR都市機構に「安心して住み続けられる公団住宅を求める要請書」を提出しました。要請書では、

- ①コロナ禍での家賃」値上げは中止し「家賃の減免」実施を行うこと。
- ②健康サポート住宅の供給促進。
- ③安心・安全と居住性の向上に向けて国の支援拡大。
- ④居住者の居住の安定を第一に、団地再生にあたっては十分な話し合いを行うこと。
- ⑤団地コミュニティ活動への積極的な支援を求めています。

国交省からは令和3年土の補正予算でUR賃貸住宅の玄関扉の断熱化や窓の複層ガラス化、団地内の太陽光発電設備設置に5億円を計上したこと、UR都市機構から家賃減額と家賃改定特別措置などについて説明を受けました。

石川敏広代表幹事「自治協加盟の団地は40年、50年経って居住者は高齢化し、年金暮らしが多くなっている。ぜひ家賃の減免実施を要望する」と訴えました。

検討(対策)委員を募集します

- ◎募集期間 : 3月5日(土)まで
- ◎応募先 : 自治会事務所・自治会役員まで
- ◎打ち合わせ : 3月中旬

告 示

【自治会役員立候補者募集】

2022年2月25日

善行団地自治会役員会・運営委員会
善行団地自治会規約【選挙細目第4条】に基づき、2022年度の自治会役員候補者募集を下記のように告示します。

◎役員定数

会長 1名 副会長 若干名
事務局長 1名 会計長 1名
会計監査 2名

◎役員立候補受付開始日 2月25日(金)

◎役員立候補締切日 3月11日(金)

◎役員立候補届出先 自治会事務所
80-3536へご連絡下さい。

(届出用紙は自治会事務所にあります)

◎本告示による立候補者がいない場合は【選挙細則第5条】に準じて役員推薦委員会を設置します。

参加募集のお知らせ

「折り紙で作るしだれ桜」

日に日に春の日差しを感じるようになりました。善行団地にしだれ桜を咲かせませんか?ご希望者に折り紙・折り方を**無料配布**します。(数量限定)

配布期間 3月1日~11日予定です。

お問い合わせ先管理サービス事務所

生活支援アドバイザー たぐさり

電話 0466-83-6608

営業時間 9:30~17:00

(水曜日・日曜日・祝日除く)

「安心防災帳作成セミナー」

URと市の協同イベントで、1月24日(月)午後2時～4時 善行団地第2集会所で開催されました。

市の危機管理課職員から「防災講話」の報告。地域共生社会推進室の職員から「安心防災帳」の説明とその記入方法について説明がありました。

参加者は23人でした。



「見守りサービス」説明会

見守りサービスとは・・・

お住まいの室内に設置したセンサーによりお客様の動きが確認できないとき、コールセンターからお客様に電話連絡をし、必要に応じて緊急連絡先へのご連絡するサービスです。

日程：3月25日(金)

場所：善行団地 第2集会所

時間：1回目 10:30～11:00

2回目 13:00～13:30

予約制：予約連絡先へお電話下さい

連絡先：URコミュニティ

神奈川住まいセンター

0466-26-3110

持ち物：体調チェックシート

筆記用具・スリッパ

備考：マスク着用でお越しください

善行キャンプ(フィールドワーク)

善行団地において、フィールドワークに伴うインタビューと調査活動が2021年12月18日(土)・19日(日)と2日間実施されました。

主旨：協力者の日常に接近して、その「生きざま」とらえる。フィールドワークで集めた素材をもとにポスターのデザイン/編集作業を行う。

実施主体：慶応大学 加藤文俊研究室

慶応大学環境情報学部教授 加藤文俊

慶応大学学生 研究会メンバー17人

協力：善行団地自治会役員・

同寿会会長・同団地内民生委員

○1日目：12月18日(土)

学生2人と協力者1人で1ペア8組でそれぞれ、善行団地内とその周辺を回り、学生からのインタビューに答えました。

○2日目：12月19日(日)

前日、8組のフィールドワークで集めた素材をもとにポスター(A1)にして、その成果を発表。「善行団地の人びとのポスター展」：善行団地第2集会所、8枚のポスターを貼りだして、それぞれのポスターについて学生から説明報告がされました。

フィールドワーク展

2022年3月11日(金)～13日(日)

11時～19時

横浜ランドマークプラザB1F BUKATUDO
で開催されます。



【会費納入のお願い】

今月は自治会費の年度末になります。自治会費未納の方は、自治会事務所までご持参ください。